

経営比較分析表（令和3年度決算）

岩手県葛巻町 国保葛巻病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	-	救臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,745	5,630	第1種該当	-	1.3 : 1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

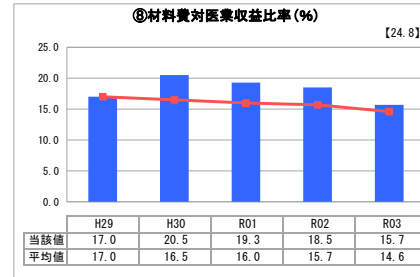
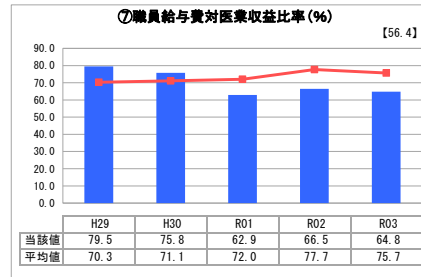
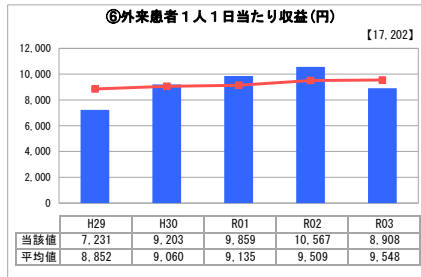
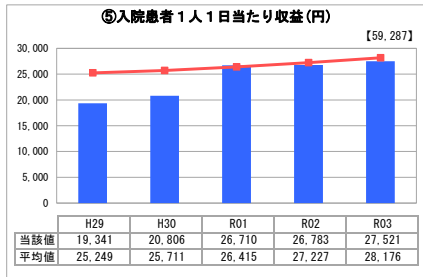
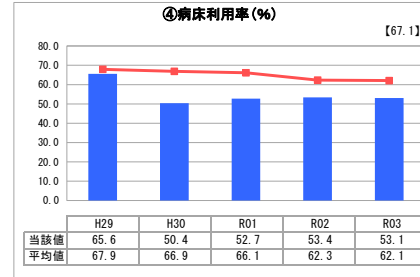
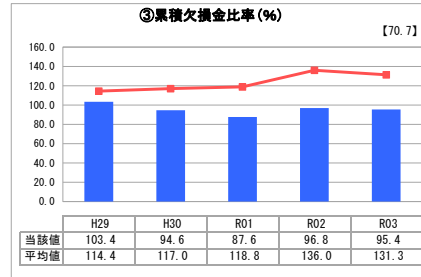
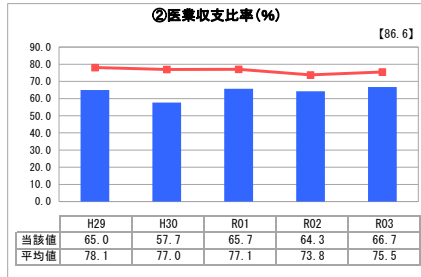
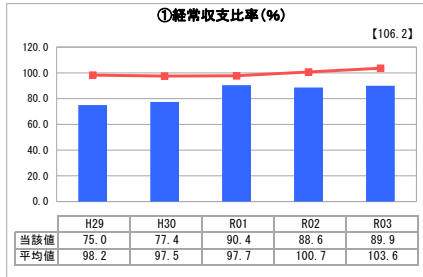
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
42	18	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
36	6	42

グラフ凡例

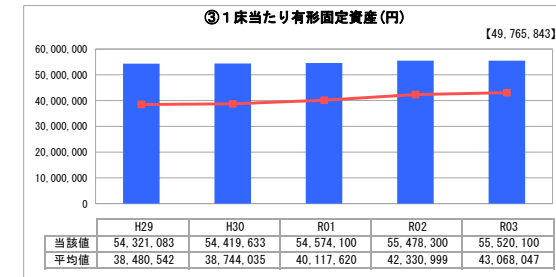
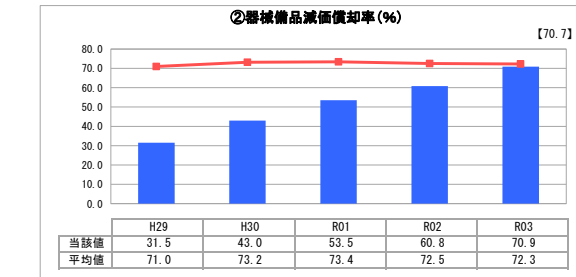
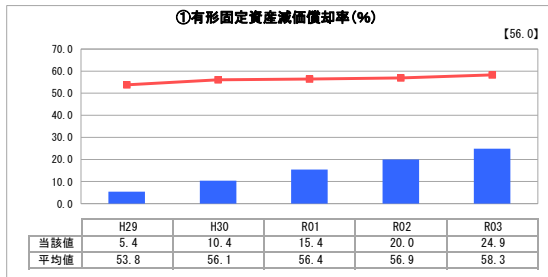
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

医種・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は、山間部に位置する町内唯一の有床病院であり、令和4年3月末で町内の診療所が閉院となるため町内唯一の医療機関となった。また、救急告示病院として救急患者の受け入れをおこなっていることから、24時間365日町民のみならず隣接市町村の住民の命と健康を守る重要な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和3年度は、入院の地域包括ケア病床の病床数を10月から14床→27床に増床し順調に運用し、患者数は微増となった。併せて、新型コロナウイルス感染症に係る医療収益の増により経常収支比率は1.3倍↑、医療収支比率は2.4倍↑それぞれ前年度を上回った。1人1日当たりの収益の増は、入院患者数の増が大きな要因となっている。また、職員給与費対医療収益比率も1.7ポイント改善。材料費対医療収益比率も難病患者の転院により高額な医薬品の購入がなくなったことが大きな要因と考えられ2.8ポイント改善された。全体を見ると、コロナワクチン接種に係る収入の影響から収支はわずかに改善された。

2. 老朽化の状況について

平成29年9月に病院の改築と同時期に医療機器の更新を行ったため、全国や類似病院の平均値を下回っている。一方、新病院建設や医療機器の更新により、1床当たり有形固定資産がいずれの平均よりも上回っていることから減価償却費として収益的支出が増大するため、計画的な医療機器等の更新の検討が必要である。

全体総括

町の基幹病院として当院への町民の期待は大きく、新病院開院とともにこれまで以上に効果的な経営の検討を行っている。特に収益の向上については、1人当たりの単価の向上と患者確保に継続して努める必要がある。また、医師と看護師のみならず他のコメディカル等計画的な人材確保が重要となっている。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。